



かわしま まさと さん/平成17年5月14日/津別町役場勤務

青春 くろずあつぷ

4月から津別町教育委員会生涯学習課社会教育係で働いている川島雅斗さん。スポーツ推進委員の補助や寿大学の運営補助などを担当しています。

町内出身の川島さんは、津別中学校を卒業し、北見柏陽高校に進学。部活動は、小学校から高校までサッカー部に所属し、全道大会にも出場するほど熱心に取り組んでいました。

町職員を志望した理由は、高校生のときにインターンとして、北見市役所に行った際に、

自身が公務員として働くイメージを持つことができ、実際に働くのであれば、生まれ育った町で役に立てたらと、考えたからだそうです。

「社会人1年目でわからないことばかりですが、早く仕事を覚えて町の発展に、貢献したいです」と今後の目標を話してくれました。

趣味はギターや旅行で、最近人気ギターブランドの「ギブソン」のギターを購入するため、貯金をしているそうです。

地域おこし協力隊の「思いつき日記」番外編

毎月このコーナーでは、地域おこし協力隊の仕事やプライベートのことを「思いつき日記」として掲載していましたが、今回は「番外編」ということで、改めて「地域おこし協力隊」の概要と、現在津別町で活躍している地域おこし協力隊員をご紹介します。

また今後は「地域おこし協力隊の思いつき日記」、「青春くろずあつぷ」、「温故知新」を交互に掲載していきます。

●地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、都市地域から人口減少や高齢化等の進行が著しい地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。任期は概ね1年以上、3年以内です。



自身の才能・能力を活かした活動
理想とする暮らしや生きがいを発見



斬新な視点（ヨソモノ・ワカモノ）
協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな力を与える



行政ではできなかった柔軟な地域おこし策
住民が増えることによる地域の活性化

行政

令和5年度で7,200名の隊員が全国で活動していますが、地方への新たな人の流れを創出するため、総務省ではこの隊員数を令和8年度までに10,000人とする目標を掲げており、地域おこし協力隊員の活動に要する経費に対して隊員1人あたり520万円を上限として財政措置を行っています。

●現在津別町で活躍している隊員

隊員名	任務	隊員名	任務	隊員名	任務
長谷川 一弘	特産品販路拡大	大竹 駿二	情報発信で地域活性化	安部 勇人	農業支援から農業従事者へ
増田 啓一郎	乳製品等の加工品開発	なまため 生天目 真里	情報・魅力発信分野で地域活性化	鈴木 健史	農業支援から農業従事者へ

温故知新

町民の皆さまへ

いつも「温故知新」をご愛読いただきありがとうございます。
毎月「温故知新」では長く人生を歩まれている方の人物紹介をしておりましたが、今回は休載いたします。

取材が可能な方に、お心当たりがある方はお気軽に下記連絡先までご連絡ください。

電話番号：76-8374（企画係直通）

FAX：76-2976

メールアドレス：toukei@town.tsubetsu.hokkaido.jp

暮らしを支える

税

町税の納付は口座振替制度のご利用を

「日中は仕事で金融機関に行くことができない」、「納付を忘れてしまう」等の方は、口座振替制度のご利用をお勧めします。この制度を利用すれば金融機関の預金口座から振替によって納税することができ、金融機関に行く手間が少なく、また、納付を忘れてしまうこともなく大変便利です。

手続きは、口座振替をする口座の印鑑、預金通帳と納税通知書を持参して町の税金を納めることのできる金融機関で行ってください。手続きの際に、引き落としのタイミングを「各期」か「全期」の二つから選択できます。振替口座の変更がなければ、毎年手続きをする必要はありません。

なお、口座振替の手続きをされた日によっては、直後の納期限に合わない場合がありますので、手続きの際には金融機関にご確認ください。

問い合わせ先

77-8376
77-8376
76

津別町のフレッシュマン特集！

現在インターネットで公開中！町のHPをご覧ください



毎年4月恒例の人気企画！津別町で新たに働き出したフレッシュマンをご紹介します！
津別町で働き始めた新たな仲間たちの意気込みをどうぞ！
津別町役場5名、地域おこし協力隊1名、JAつべつ5名、
合計11名のフレッシュマンが登場します！ぜひご覧ください！



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、ウッドルーム（大通棟）、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ（映像看板）」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日ごろ更新 《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》